

日本看護協会の 認知症への取組み

日本看護協会 常任理事

齋藤 訓子

日本看護協会の 認知症への取り組み理念

認知症の人も家族も地域住民も

居心地のよい環境で

気持ちよく最期まで暮らせる

社会の実現

日本看護協会の 認知症への取組み

		これまでの実績
教育・研修	すべての看護職の認知症対応能力向上と、高度専門家の育成	<ul style="list-style-type: none">■ 認知症看護認定看護師、老人看護専門看護師の資格認定： 認知症看護認定看護師 651名、老人看護専門看護師 93名 (2016年4月現在)■ 認知症認定看護師教育課程の実施（看護研修学校）■ インターネット配信（オンデマンド）研修：事例から学ぶ一般病院での認知症ケアの実施（看護研修学校）■ 診療報酬における認知症加算2の対象となる研修の実施（神戸研修センター）■ 急性期病院の看護師を対象とした認知症研修を開始■ 認知症ケアガイドブックの出版
提言 政策	在宅で認知症の人を支える方策	<ul style="list-style-type: none">■ 診療報酬における認知症ケアへの評価の実現（身体疾患を有する認知症患者の対するケアの評価）
広報 周知	すべての人が認知症を理解する	<ul style="list-style-type: none">■ 平成28年度 全国看護師交流集会Ⅱ シンポジウム「認知症の人が暮らし続けられるまちづくり」

認知症ケアガイドブック

あらゆる現場で働く看護師の認知症ケアの質の向上を目指す



- 看護師をはじめ医療・介護に関わる多職種を対象として、日本における「**認知症ケアのスタンダードモデル**」を示し、あらゆる現場での認知症ケアの質の向上に寄与することを目的に製作した。
- 認知症治療に関わる医師、老年看護、認知症看護の専門性の高い看護職、行政の担当者等がそれぞれ専門分野を執筆した。
- 認知症の疾患と治療はもちろん、認知症ケアの視点、倫理、症状や生活でのアセスメント、家族への支援や認知症と合併する身体疾患等の内容も網羅した。